

病害虫発生予察指導情報 (ネギベと病 NO.1)

令和5年5月15日
鳥取県病害虫防除所

1 情報の内容

5月9日現在、一部の地域でネギベと病の発生量が増加しています。今後の気象条件によっては発病が増加する恐れがありますので、防除を徹底しましょう。

2 情報の根拠

- (1) 本年のネギベと病は、平年並の発生量で推移していたが、4月下旬以降の気象経過により、発生量が増加している。
- (2) 本病は、15～20℃程度で降雨が続くと発病に好適な条件となる。高温条件により病勢は停滞するが、今後の気象条件によっては、発生量が増加する恐れがある。また、この時期に病原菌密度が高まると、秋期の多発要因になるため、防除を徹底する必要がある。

3 防除上注意すべき事項

- (1) 発病後の蔓延は早いので発病前からの防除に努める。
- (2) 予防散布には、アリエッティ水和剤800倍液、ジマンダイセン水和剤600倍液、ランマンフロアブル2,000倍液、リドミルゴールドMZ1,000倍液などを使用する。
- (3) 発病を認めたら直ちに、アミスター20フロアブル2,000倍液、フォリオゴールド1,000倍液、プロポーズ顆粒水和剤1,000倍液、メジャーフロアブル2,000倍液、レーバスフロアブル2,000倍液などを散布する。
- (4) 同一有効成分及び同系統の有効成分を含む薬剤は連用しない。また、有効成分ごとの総使用回数及び収穫前日数に注意して薬剤を選定する(表1、表2)。



写真1 ネギベと病 (葉の病徴、黄丸)

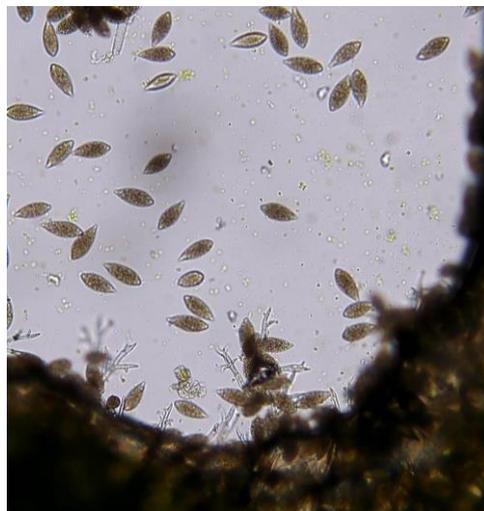


写真2 分生子および分生子柄 (光学顕微鏡 100倍)

表1 ネギベと病の主な防除薬剤（令和5年5月14日現在の農薬登録内容）

RAC コード*	薬剤名	希釈 倍数	使用時期	本剤の 使用回数	有効成分	
F:11	アミスター20フロアブル	2000倍	収穫3日前まで	4回以内	アズキシストロビン	
F:P07	アリエッティ水和剤	800倍	収穫3日前まで	3回以内	ホセチル	
F:M03	ジマンダイセン水和剤	600倍	収穫14日前まで	3回以内	マンゼブ	
F:4 F:M05	フォリオゴールド	800～ 1000倍	収穫14日前まで	3回以内	メタラキシルM	TPN
F:40 F:M05	プロポーズ顆粒水和剤	1000倍	収穫14日前まで	3回以内	ベンチアバリカルブイソプロピル ロピル	TPN
F:11	メジャーフロアブル	2000倍	収穫前日まで	3回以内	ピコキシストロビン	
F:21	ランマンフロアブル	2000倍	収穫3日前まで	4回以内	シアゾファミド	
F:4 F:M03	リドミルゴールドMZ	1000倍	収穫14日前まで	3回以内	メタラキシルM	マンゼブ
F:40	レーバスフロアブル	2000倍	収穫7日前まで	2回以内	マンジプロパミド	

*農薬の作用機構分類、同じ番号は同一系統であることを示す。

表2 有効成分ごとの総使用回数（令和5年5月14日現在の農薬登録内容）

RACコード	有効成分名	総使用回数
F:4	メタラキシルM	5回以内(種子への処理は1回以内、土壌混和は1回以内、散布は3回以内)
F:11	アズキシストロビン	5回以内(粒剤は1回以内、水和剤は4回以内)
	ピコキシストロビン	3回以内
F:21	シアゾファミド	4回以内
F:40	ベンチアバリカルブイソプロピル	3回以内
	マンジプロパミド	2回以内
F:M03	マンゼブ	3回以内
F:M05	TPN	4回以内(土壌灌注は1回以内、散布および無人航空機散布は合計3回以内)
F:P07	ホセチル	3回以内